



第48期 第2四半期報告書  
2010.04.01-2010.09.30



Aoi Advertising Promotion Inc.

私たちは映像制作を通じ、  
すべての人々と喜びを分かち合い、  
ひろく経済、情報、文化に貢献する  
企業をめざします。

**Dream & Happiness**



## ごあいさつ

株主の皆様にはますますご清祥のこととおよろこび申し上げます。

ここに当社第48期第2四半期を終了いたしましたので、事業の概況につきましてご報告申し上げます。

当第2四半期におけるわが国経済は、海外経済の回復テンポが緩やかになる中で、輸出が頭打ちとなっていること、企業部門でも収益は改善が続いているものの、企業マインドの改善の動きが鈍っており、生産活動が減速していること、家計部門についても、雇用・所得環境や消費者マインドの改善の動きに停滞感が生じていることなどから、景気回復の勢いが一段と緩やかになっております。

こうしたわが国経済の動きを反映し、広告需要は底を打ったものの、大きく回復するには至っておりませんが、その中で、当社が主力とするテレビコマーシャルの需要は、引き続き、メディアの新しい展開による広告媒体の多様化の影響を受けながらも、回復基調を維持しております。

このような環境の中にありまして、当社グループでは、前連結会計年度に引き続き、制作原価率の抑制、コストの削減等による収益力の強化と、グループ全体の営業体制強化に努め、全社を挙げてより一層の業績の改善に努めてまいりました。その結果、当第2四半期の連結業績につきましては、売上高は前年同期を上回り計画を達成しました。利益面でも、営業利益、経常利益、四半期純利益ともに、前年同期比大幅な増益となり、計画を上回ることができました。

また、私は本年4月に当社の社長に就任し、事業戦略のひとつとして「われわれの財産である創造力を異業種とコラボレーションさせることで生まれる新規ビジネスの開発」を掲げましたが、9月には、当グループ初のB to C事業として、当社子会社の(株)ホリーホックが東京ミッドタウンに「写真スタジオ hollyhock」をオープンさせました。これからも、新たなことにチャレンジしてまいりますので、ご期待いただければと思います。

私たちは「株主利益の増大を図る」とともに、「取引先、社員、地域社会等すべてのステークホルダーに満足される共益的利益を維持・向上する」ことが最大の使命であると考え、コンプライアンスを重視し、迅速で適切な意思決定と公正で透明性の高い事業運営を行い、すべてのお客さまのニーズに高いレベルで対応することにより、すべての人々と喜びを分かち合い、ひろく経済、情報、文化に貢献する企業をめざします。

株主の皆様には、今後とも一層の力強いご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

代表取締役社長

藤原 次彦

## 株主の皆様へ

### 〈当社グループの経営成績について〉

広告需要が底打ちし、テレビコマースの需要が回復基調を維持する環境の中でありまして、当社は、売上高は前年同期を上回り計画を達成しました。利益についても、引き続き、収益力の強化に取り組み、営業利益、経常利益は前年同期比大幅な増益となり、計画を上回りました。四半期純利益も、当社持分法適用会社の株式と同社に対する貸付金について引当金を特別損失に計上しましたが、前年同期を上回る水準を確保しました。

加えて、子会社の業績についても、グループ全体の営業体制強化が奏功し、前年同期に比べて総じて改善しており、売上高は(株)ワサビを除く全社が増収となり、利益についても、(株)ワサビと(株)スクラッチを除く全社が増益となりました。(株)ティーポットは、前連結会計年度までは休眠会社であり非連結子会社としていましたが、平成22年5月10日に第三者割当増資（全額を当社が引受）を実施、社名を(株)ホリーホックに変更し、当連結会計年度より当社連結子会社といたしました。(株)ホリーホックは、写真スタジオ事業を目的としております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高71億1千万円（前年同期比115.6%）、営業利益4億9千4百万円（前年同期比585.1%）、経常利益3億5千9百万円（前年同期は、経常損失1億1百万円）、四半期純利益2億円（前年同期は、四半期純損失5千9百万円）となり、前年同期は赤字であった経常利益、四半期純利益が黒字化しました。

### 〈セグメント情報〉

当社グループは、主にCM作品、WEB作品の制作及び催事の運営等の「広告制作事業」を行っておりますが、昨年4月に、生活行動情報等を処理及び提供する「情報流通事業」を行う当社持分法適用会社(株)タクサシステムズを立ち上げました。また、本年6月、当社連結子会社(株)ホリーホックにて、コンシューマ向け写真館運営事業及び全国の写真館に対する販売促進支援を行う「写真スタジオ事業」を開始することを決定し、「写真スタジオhollyhock」第1号店を、9月、東京ミッドタウンにオープンしました。

したがって、当社グループはサービス別に「広告制作事業」「写真スタジオ事業」「情報流通事業」の3つを報告セグメントとしております。

#### ① 広告制作事業

広告制作事業の売上高は71億1千9百万円、経常利益は5億3千3百万円と、前年同期比増収増益となりました。

#### ② 写真スタジオ事業

写真スタジオ事業については、9月に第1号店をオープンしたばかりであり、売上高814千円、経常損失6千7百万円となりました。

#### ③ 情報流通事業

情報流通事業については、当社持分法適用会社における事業であり、連結損益計算書の持分法投資損失のみ計上しておりますが、創業赤字が継続していることから、経常損失1億6百万円となりました。

## CM特集

# TV Commercials

資生堂 エリクシール シュベリエル  
「ハリマドンナ（秋）」



アサヒ飲料 ワンダ モーニングショット  
「登場」



KDDI LISMO  
「LISMO Fest!」



パナソニック 3D VIERA  
「オールインワン」



## 〈通期の見通し〉

今後のわが国経済は、各国の財政政策が財政規律を重視するスタンスへと移っていく中で海外経済が減速すること、企業部門でもそれに伴う輸出の停滞、及びエコカー補助金の終了やたばこ税の増税に伴う関連需要の急減などもあり、生産活動が一時的に大きく落ち込む可能性が高いこと、家計部門についても、雇用情勢が引き続き厳しく賃金も一進一退となり、消費者マインドの改善に向かう動きが足踏みを続け、個人消費も自動車やたばこの駆け込み需要の反動もあって弱含んでいくことなどから、当面、回復に向かう動きが一服し、停滞感を強めていくものと思われます。こうしたこと

から、今後の広告需要の推移については、不透明感が強まっています。

このような環境の中、当社グループとしては、引き続き、積極的な営業活動と、制作原価率の抑制、コストの削減等による収益力の強化に取り組んでいく所存であります。

以上により通期の連結業績の見通しにつきましては、以下を予想しております。

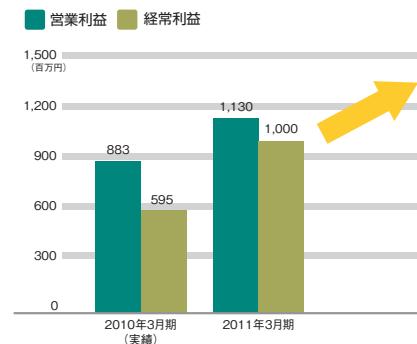
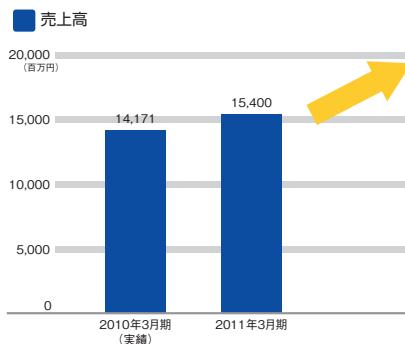
	連 結	前期比
売 上 高	154億円	8.7%増
営 業 利 益	11億3千万円	28.0%増
経 常 利 益	10億円	68.0%増
当期純利益	5億8千万円	21.9%増

## 経営目標

当社グループは中期経営目標として、

- 1：グループ総売上高 190億円以上
- 2：1株当たりの当期純利益 50円以上
- 3：株主資本当期純利益率（ROE） 7%以上

を掲げております。



ライオン  
香りとデオドラントのソフラン アロマリッチ  
「つづく」



ソニー・エリクソン・モバイルコミュニケーションズ  
Cyber-shot™ケータイS003 & BRAVIA® Phone S004  
「極めて」



日本コカ・コーラ い・ろ・は・す  
「植物生まれのプラントボトル」



許諾：日本コカ・コーラ株式会社

富士通 企業広告  
「アメダス」



## WEB SITE

### カゴメ 野菜一日これ一本 「野菜AKB」

忙しくて偏った食事をしてしまう現代の男性にカゴメの野菜ジュースである「野菜一日これ一本」をAKB48野菜シスターズが伝えるサイト。「実際に野菜ジュースを飲む姿」をコンテンツにし、「商品をAKB48野菜シスターズと一緒に飲むサイト」というコンセプトで商品の魅力を訴求した。メンバー全員のコメントから始まるサイトのイントロ部分は、時間帯によってコメントの内容が変わるなどの工夫が施されている。また、サイトへの誘引だけでなくAKB48野菜シスターズへの接点作りとして機能させており、twitterなどと連動したキャンペーンが行われた。



## OPENING FILM

### 日本放送協会 「地球ドキュメント MISSION」 オープニング映像



NHK BS1で2010年4月より放送のドキュメンタリー番組「地球ドキュメント MISSION」のオープニング映像を制作。日本のバンド・SOURのミュージックビデオ「日々の音色」で国内外の賞を多数受賞したNY在住のクリエイティブディレクター・川村真司氏、同Hal Kirkland氏がクリエイティブ全体の統括を担当。日常的なモノや人の動きをWebカメラで撮影し、番組タイトルの“MISSION”という文字を形作ってゆく作品を制作した。ニューヨークとの打ち合わせは主にインターネットを活用して行い、出演者の募集は世界最大のソーシャルネットワーキングサービス「facebook」を活用。応募者の中から多様な国籍の16名が選出された。演出スタッフとして当社と(株)シースリーフィルムのディレクターが参加し、2社初のコラボレーション作品ともなった。

## MUSIC VIDEO

### HALCALI「浪漫飛行」 エピックレコードジャパン

2人組ガールズヒップホップユニットHALCALIが米米CLUBの大ヒット曲「浪漫飛行」をスカ・ダンス・ポップで大胆にカバーした曲のミュージックビデオの制作を担当。この楽曲はソニー「Cyber-shot」のテレビCMでも使用された。



## CM特集

# TV Commercials

カルビー カルビーポテトチップス  
「ハイスピード・バリッ！」



第一三共ヘルスケア パテックスうすびたシップ  
「びたっと密着」



ソニーマーケティング デジタル一眼カメラ“α”  
「思い出のオルガン」



本田技研工業 ZEST Spark  
「目ヂカラ」



## 葵プロモーショングループのご紹介

### 株式会社 メディア・ガーデン

撮影スタジオの経営

### 株式会社 葵デジタルクリエイション

デジタルコンテンツ及び  
Webサイト等の企画・制作

### 株式会社 デジタル・ガーデン

デジタル編集及び  
コンピューターグラフィックスの企画・制作

### 株式会社 ワサビ

テレビコマーシャルの企画・制作

### 株式会社 エムズプランニング

イベントや展示会の企画・運営

### 株式会社 スクラッチ

広告全般  
戦略・企画・制作

### 株式会社 シースリーフィルム

テレビコマーシャルの企画・制作

### 株式会社 ホリーホック

写真スタジオ事業



### 株式会社 葵プロモーション

## 当社の事業戦略

# 2

これまで培ってきた  
映像制作に関わる  
ノウハウを  
フル活用することによる  
ビジネス領域の拡大。

# 1

主力であるテレビCM、  
WEBコンテンツ等  
広告映像制作における  
業界シェア拡大のための、  
営業力・技術力強化と  
クロスメディアに対応できる  
人材・グループ会社の育成。

# 3

われわれの財産である  
創造力を異業種と  
コラボレーションさせる  
ことで生まれる  
新規ビジネスの開発。

## 葵プロモーショングループの事業紹介



株式会社 葵デジタルクリエーション

Digital Contents



Amino-Value Tweet Runners

株式会社 ワサビ

IVCM

三菱電機 ユニ&エコ チェンジ！  
「らく楽アシスト登場」



株式会社 エムズプランニング

Events

ニッセン  
nissen, BEST STYLING CONTEST 2010

株式会社 シースリーフィルム

IVCM

競艇振興センター 企業  
「笹川賞」



株式会社 ホリーホック

Photography



© 2010 Nacasa&Partners Inc.

株式会社 デジタル・ガーデン CG制作作品

上海国際博覧会 日本産業館

「宴 UTAGE」

2010年10月  
31日、大盛況の  
うちに閉幕した上海  
国際博覧会（上海  
万博）の日本産業  
館パビリオンで  
上映されていた  
映像コンテンツの



CG制作を株式会社デジタル・ガーデンが担当した。

縦18メートル、横10メートルの世界初の巨大縦型スクリーンは、堺屋太一氏のプロデュースによるもの。花見やねぶた祭といった伝統文化から京都や白川郷などの名所、さらにはガールズ消費やオタクといった最新文化まで新旧様々な物を巧みに組み合わせて、日本の文化や四季、産業を美しく表現し、各方面で高い評価を得た。

企画・制作：NHKエンタープライズ  
上海万博開催期間：2010年5月1日～10月31日

2010年5月、休眠中の株式会社ティーポットを株式会社ホリーホックに商号変更し、写真スタジオ事業を開始。第1号店として9月1日、六本木の東京ミッドタウンに「写真スタジオ hollyhock」をオープンさせた。葵プロモーショングループ初のB to C事業となる同スタジオは、七五三や成人記念等のベーシックな撮影に加え、専用ベビースタジオでのベビー&キッズ撮影、タブロイドサイズのグラフィック、メイキングムービーなどの新しいメニューも取り揃え、専属コンシェルジュによりお客様一人ひとりの要望に応える体制を整えている。

※著作権保護のため作品画像のWEB掲載はしていません

## 第2四半期連結財務諸表

### 第2四半期連結貸借対照表 (要旨)

(単位: 千円)

科目	期別	前第2四半期 (平成21年9月30日現在)	当第2四半期 (平成22年9月30日現在)	前期 (平成22年3月31日現在)
(資産の部)				
1	流動資産	8,415,009	9,822,825	8,872,227
2	固定資産	7,004,996	6,998,703	6,855,419
	有形固定資産	4,957,476	5,203,012	4,888,293
	無形固定資産	289,466	231,952	245,827
	投資その他の資産	1,758,053	1,563,737	1,721,298
	資産合計	15,420,006	16,821,529	15,727,646
(負債の部)				
1	流動負債	3,808,942	4,622,163	4,182,028
	固定負債	2,857,513	2,925,543	2,324,499
	負債合計	6,666,456	7,547,707	6,506,528
(純資産の部)				
	株主資本	8,626,452	9,073,807	9,028,092
	資本金	3,323,900	3,323,900	3,323,900
	資本剰余金	3,944,754	3,944,055	3,944,754
	利益剰余金	2,237,150	2,733,960	2,688,567
	自己株式	△ 879,352	△ 928,108	△ 929,129
	評価・換算差額等	3,522	△ 346	19,496
	新株予約権	30,268	44,049	37,437
	少数株主持分	93,307	156,311	136,092
	純資産合計	8,753,550	9,273,822	9,221,118
	負債及び純資産合計	15,420,006	16,821,529	15,727,646

### 第2四半期連結損益計算書 (要旨)

(単位: 千円)

科目	期別	前第2四半期 (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)	当第2四半期 (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)	前期 (平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)
3	売上高	6,148,913	7,110,614	14,171,554
	売上原価	5,162,747	5,734,547	11,629,055
4	売上総利益	986,166	1,376,066	2,542,498
	販売費及び一般管理費	901,669	881,712	1,659,374
	営業利益	84,496	494,354	883,123
	営業外収益	16,917	27,629	55,495
	営業外費用	202,704	162,500	343,230
	経常利益(△損失)	△ 101,290	359,483	595,389
5	特別利益	172,898	43,227	373,340
5	特別損失	53,987	103,503	73,442
	税金等調整前四半期(当期)純利益	17,620	299,206	895,287
	法人税、住民税及び事業税	16,237	139,909	262,193
	法人税等調整額	54,987	△ 67,266	114,060
	少数株主利益	5,850	25,581	43,333
	四半期(当期)純利益(△純損失)	△ 59,454	200,982	475,701

**POINT 1** 流動資産及び流動負債の増加は、主に売上高の増加に伴う売上債権や仕入債務の増加によるものです。

**POINT 2** 有形固定資産の増加は、主に子会社における設備投資によるもので、投資その他の資産の減少は、主に事務所の返却・移転等による敷金・保証金の減少によるものです。

**POINT 3** 売上高の増加は、テレビコマーシャル需要が回復基調を維持していることに加え、グループ全体の営業体制強化に努めたことにより、当社を始め(株)ワサビを除く全社が増収となったことによるものです。

**POINT 4** 売上総利益の増加は、売上高の増加に加え、引き続き制作原価率の低減に努めたことによるものです。

**POINT 5** 特別利益・損失の増減は、主に、当第2四半期において持分法適用会社向け貸付金に対する貸倒引当金繰入額が特別損失に、また、前期において子会社の事業譲渡益が特別利益に計上されていることによるものです。

## 第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨) (単位：千円)

科目	期別	前第2四半期 (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)	当第2四半期 (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)	前期 (平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)
	6 営業活動による キャッシュ・フロー		1,375,883	232,503
投資活動による キャッシュ・フロー		△ 167,843	△ 608,874	△ 302,355
財務活動による キャッシュ・フロー		△ 446,198	907,004	△ 1,450,047
現金及び現金同等物に 係る換算差額		△ 269	△ 296	△ 161
現金及び現金同等物の 増加額		761,572	530,337	648,794
新規連結に伴う現金及 び現金同等物の増加額		—	1,517	—
現金及び現金同等物の 期首残高		1,584,382	2,233,176	1,584,382
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高		2,345,954	2,765,031	2,233,176

**POINT 6** 営業活動によるキャッシュ・フローの減少は、主に、利益が増加する一方で、前期は売上が減少したため売上債権の減少額が大きかったことによるものです。

### 配当金計算書について

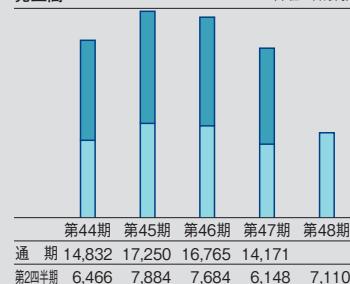
同封いたしております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づき作成する「支払通知書」を兼ねております。配当金をお受取になった後の配当金額のご確認や確定申告の資料としてご利用いただけます。

なお、配当金を証券口座でお受取り(株式数比例配分方式)の株主様は、お取引のある証券会社へご確認ください。

## 財務ハイライト(連結)

■ 第2四半期 ■ 通期

売上高 (単位：百万円)



経常利益(△損失) (単位：百万円)



四半期(当期)純利益(△純損失) (単位：百万円)



## 会社の概況

(平成22年9月30日現在)

商号	株式会社 葵プロモーション
設立	昭和38年10月25日
資本金	3,323,900千円
従業員	241名(葵グループ457名)
主要な事業内容	テレビコマーシャルの企画及び制作を主に、映像制作及びこれらに付帯する業務
主要な事業所	本社 東京都品川区 支店 米国カリフォルニア州カラバサス オフィス 新橋(東京都中央区) 赤坂(東京都港区) スタジオ 神奈川県横浜市都筑区 編集スタジオ 東京都渋谷区

## 取締役及び監査役

(平成22年9月30日現在)

代表取締役社長	藤原 次彦
専務取締役	八重樫 悟
常務取締役	笹貫 善雄
常務取締役	中江 康人
取締役相談役	高瀬 哲
取締役	本多 俊也
取締役	小甲 則夫
取締役	小形 浩隆
取締役	譲原 理
常勤監査役	斉藤 博
監査役	田村 慎太郎
監査役	西本 行孝
監査役	湯佐 富治

(注) 監査役田村慎太郎、監査役西本行孝及び監査役湯佐富治の3氏は、社外監査役であります。

## 株式の状況

(平成22年9月30日現在)

発行可能株式総数	38,000,000株
発行済株式の総数	13,334,640株
	(自己株式 1,474,460株を含む)
株主数	2,742名

### 大株主の状況

株主名	持株数	出資比率
	(千株)	(%)
株式会社コスモチャンネル	1,312	11.0
株式会社イマジカ・ロボットホールディングス	1,000	8.4
松本 洋一	575	4.8
原 仁	461	3.8
原 文子	328	2.7
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	313	2.6
葵プロモーション従業員持株会	262	2.2
株式会社オムニバス・ジャパン	220	1.8
株式会社テーオーシー	202	1.7
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	173	1.4

(注) 1. 出資比率については、自己株式(1,474千株)を控除して算出しております。  
2. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)及び日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)の持株数は、全て信託業務に係る株式数であります。

## 株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年の3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月に開催いたします。
- 単元株式数 500株
- 基準日 定時株主総会 毎年3月31日  
期末配当 毎年3月31日  
中間配当の支払いを行うときは9月30日といたします。
- 公告方法 電子公告の方法により行います。  
公告掲載URL (<http://www.aoi-pro.com/>)  
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載いたします。
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
特別口座の口座管理機関
- 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号  
フリーダイヤル (0120) 232-711
- 上場証券取引所 東京証券取引所

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

# 株式会社 葵プロモーション

〒141-8580 東京都品川区大崎一丁目6番1号

TEL (03)3779-8000 (代表)

[www.aoi-pro.com](http://www.aoi-pro.com)

